

# ひがしつ子 1月

2026



## 園長コラム

3学期は、遊びや活動の中に「大会」と名のつく取り組みがいくつかあります。勝ち負けがはっきりする場面では、楽しい気持ちだけでなく、悔しさや思い通りにならない経験も生まれます。自分の力を発揮することと同時に、同じ場にいる友だちの存在を意識することが求められる時間でもあります。「どうすれば一緒に楽しめるか」「相手はどう感じているか」を考えようとする姿が、日常の中で確かに育まれています。

こうした関わりの中で生まれる葛藤は、すぐに答えが出るものではありません。私たちは、大人が先回りして答えを教えてしまうのではなく、子ども自身が考え、感じ、選び取ろうとする時間を大切にしています。もちろん、難しいときにはそっと寄り添い、気持ちを言葉にする手助けをしながら、その子なりの一歩を支えています。

また、園では現在、保護者の皆さんを対象にアンケートを実施しています。まだ集計はこれからですが、日々の保育の中で感じておられることや、お子さまの姿を通して見えている思いを受け止め、今後の園づくりに生かしていきたいと考えています。子どもたちを中心に、園とご家庭が同じ方向を見ながら歩んでいくための、大切な機会だと捉えています。

うれしい体験も、思い通りにならない体験も、すべてが子どもたちの育ちにつながっています。自分の気持ちを大切にしながら、周囲の存在にも目を向けられること。その力が日々の生活の中で育っていくよう、3学期も一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。

### 0～2歳児クラスの1か月

#### 安心の中で広がる毎日

冬の寒さの中でも、子どもたちは身近な人や物に触れながら、ゆったりとした時間を過ごしています。保育者のそばで安心して遊んだり、友だちの存在を感じながら同じ空間で過ごしたりする中で、一つひとつの「できた」や「楽しい」を積み重ねています。





## 「ことば」で想いあふれる発表会 ひかり組 保護者 藤本夏枝

冬の発表会は、全員で歌う「たのしいね」から、あたたかな雰囲気の中で始まりました。少し緊張しながらも元気いっぱいに歌う子ども達の声に、会場は一気に笑顔に包まれました。

続く2歳児クラスの劇ごっこでは、自由でかわいい野菜たちがのびのびと登場し、その一つ一つのしぐさに思わず頬が緩みました。

年少・年中・年長が一緒に取り組んだ劇ごっこでは、緊張しながらもみんなをリードしようと頑張る子、ニコニコ笑顔で大きな声を出す子など、一人一人の個性が輝いていました。みんながことばを通して想いを届けようと一生懸命に表現する姿が、心に残る素敵な劇となりました。

最後は年長さんによる歌「せかいがひとつになるまで」。お友達とも迎える最後の発表会であることを噛み締めながら、みんなが背筋を伸ばし、真っ直ぐな瞳で歌う姿に、胸がいっぱいになりました。我が子も年長として参加する最後の発表会。これまでの園生活での成長や想い出と重なり、特別忘れられない発表会となりました。

最後に、「ことば」を伝えることの大切さや、一生懸命取り組むことの大切さを教え、日々子ども達一人一人に寄り添いながら、ここまで導いてくださった先生方へ、心より感謝いたします。



## 3～5歳児クラスの1か月

### 一緒に楽しむ気持ちが育つ時間

遊びや活動の中で、お友達と声を掛け合ったり、順番を待ったりと、相手を意識した関わりが増えています。思い通りにならない場面も経験しながら、どうしたら一緒に楽しめるかを考える姿が、日常の中で見られるようになってきました。

